2022-2023 年度 RI テーマ

第 2780 地区　ガバナー
佐藤　祐一郎

第 3 グループガバナー補佐
永松　秀行

イマジン
ロータリー

Rotary

2022-2023 年度
藤沢ロータリークラブ週報

■創　立　／　昭和 29 年 6 月 3 日　　■第 68 代　会長　／　廣島　純　　幹事　／　鈴木　大次
■事務所　／　藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204　TEL：0466-25-4000　FAX：0466-26-9292　E-mail：info@fujisawa-rotary.com
■例会日　／　毎週水曜日 12:30～13:30　　■例会場／　湘南鎌倉クリスタルホテル TEL：0466-28-2111

NO.19　第 3277 例会　２０２２年　１２月　７日　天候　貼れ

国家「君が代」
ロータリーソング「我らの生業」
「四つのテスト」　鈴木　敏治　会員

≪ゲスト・ビジターの紹介≫

卓話ゲスト：碇　明生　様
（特定非営利活動法人ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント）　（紹介者：杉原会員）
ビジター：中野博義様（東京南 RC）

≪ZOOM 出席≫

崎山　直夫　会員

≪入会式≫

蛭田造園株式会社
蛭田　圭一　会員（推薦会員：鈴木　大次会員）

≪会長報告≫

・蛭田新会員、ご入会おめでとうございます。よろしくお願い致します。
・2 回お休み中の報告です。
青森県豪雨災害支援義捐金の報告が 2780 地区より参りました。
・11 月 13 日に開催の全藤沢珠算競技会兼そろばんコンクールの後援協賛のお礼状が参りました。
・来年、インボイス制度が始まります。企業として対策が必要となります。皆様はどのようにお考えでしょうか。問題共有していきたいと思います。

≪幹事報告≫

・例会終了後、次年度理事役員選考委員会を開催致します。選考委員、現理事役員のご出席お願い致します。
・メルボルン国際大会のツアー案内が来ておりますので、受付でご覧ください。
・次週 14 日、例会中に年次総会を開催致します。ご欠席の方は委任状の提出をお願い致します。
・My Rotary に 2022 年度の「手続要覧」が掲載されました。
・今年度の会員名簿が出来上がりました。1 冊づつお持ちください。

出席報告　（　　）内は計算に用いた会員数
＋〔　〕は Zoom 出席者

会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メークアップ会員数	修正出席者数	修正出席率
11月9日	42(40)名	25名	15名	62.50%	1名	26名	65.0%
12月7日	43(40)名	22＋〔1〕名	17名	57.50%			

・12 月 10 日　IA 委員会　杉原委員ご出席
　　社会・国際奉仕研修会
　　廣島会長　小澤会員ご出席
・12 月 13 日　地区財団関連合委員会
　　大小原副委員長　鈴木委員ご出席
・12 月 14 日　地区危機管理委員会
　　瀧澤副委員長　椋梨委員ご出席

≪委員会報告≫

・杉原　地区ＩＡ委員
11 月 23 日（水）、インターアクト年次大会が、三浦学園さんで開催されました。
本来、今年度湘南学園 IA クラブがホスト校でしたが、現在活動が出来ておりません。今後、慈善活動等藤沢 RC を通じて、活動を活発にしていきたいと顧問の荒木先生よりご相談がありました。
次年度もホスト校を鎌倉女学院さんに交代していただきました。再来年は湘南学園 IA クラブと決まっておりますので、来年には部員を増やしていきたいと思いますので、皆様のお知恵とご協力お願い致します。

・下野親睦活動委員長
12 月 21 日（水）、クリスマス夜間例会・家族会を開催致します。会場は湘南鎌倉クリスタルホテルです。ご出欠連絡お願い致します。

・新年初例会・新年会は、1 月 12 日（木）、隠里車屋を会場に開催予定です。ご予定ください。

≪お祝い≫

会員誕生日　12 月 13 日　吉川　栄紀　会員

結婚記念日　12 月 8 日　田中　正明　会員
　　小河　静雄　会員

≪スマイル報告≫

廣島　純　会員
碇明生様、本日の卓話よろしくお願い致します。
東京南ロータリー中野様ようこそ。

田中　正明　会員
結婚記念祝い　ありがとうございました。
12 月 9 日で 53 周年となります。

吉川　栄紀　会員
会員誕生日祝いありがとうございます。12 月 13 日で満 60 歳になります。何か赤いモノでお祝いしようかと思っております。
これからもがんばります。

鈴木　大次　会員
碇様、本日の卓話楽しみに致しております。
蛭田様、入会おめでとうございます。
東京南 RC　中野様、ようこそ。

≪卓話≫

「人生 100 年時代の働き方」

特定非営利活動法人ソサエティ

オブ・キャリアコンサルタント

1 級キャリアコンサルティング技能士

碇　明生（いかり　あきお）様

（紹介者：杉原　栄子　会員）

・人生 100 年時代と言われるが、皆さんは何歳まで生きるのか。長浜バイオ大学永田宏教授の研究データに基づき説明。（別紙資料参照）

・以前は人生 70 年、定年 60 歳、一生を同じ会社で同じ仕事をして過ごすことが一般的だった。

・しかし、今は人生 100 年、年金問題もあり 70 歳くらいまで働く期間が伸びたが、それに加えて、技術革新や社会の変化が急速に進み、同じ仕事をずっとしていたのでは、世の中のニーズに合わなくなってしまうようになった。

・このため、一生のうちに時代に合わせて複数の仕事や職場を経験するマルチステージという考え方が出てきた。

・こうした人生 100 年時代の後半を豊かに過ごすために必要な資産として、経済資産、健康資産、社会資産、変化資産、幸福資産の５つがある。

・経済資産は、年金や退職金などの資産運用と言う面もあるが、仕事を持つ力や付加価値を生む力を持ち、収入を得ることも大切。年金や貯えがあれば収入は現役世代ほどの額は必要ではないが、年金＋αが経済的ゆとりを生み、日々を豊かに過ごす基礎となる。

・健康資産は。心と体を良い状態に保ち、前向きな意欲をもって行動できるようにすること。そのためには自己管理が大切だが、仕事や家事で身体を動かすことも健康には良いことであり、働くことは健康資産という面から大切なことだと言える。

・社会資産は、家族や友人などとのつながり、働くことも含めた社会との関りを作っていくこと。そのためには、自分から働きかける発信力、人と心を通い合わせる共感力が大切。ただし、無理をせず自分らしくあることも忘れないようにしたい。

・変化資産は、いくつになっても「変われる自分」でいたいという気持。人生 100 年時代のマルチステージに対応するため、挑戦意欲を失わず、新しいことへの好奇心、柔軟性、対応力を持ち続けることが大切。

・ここまでの色々な資産があっても、最後に大切なものは幸福資産、幸せを感じる心。生き甲斐や働き甲斐を感じ、自分が幸福だと思える心の在りようが大切。そのためには感受性を失わず、日々の暮らしの中で充足感を得られるように過ごしたい。

・経済資産、健康資産、社会資産の 3 つが基本となるが、そのどれもがつながるところに「ＷＯＲＫ」、働くということがある。現役世代とは違った、自分にとってふさわしい働き方を考えてみよう。

・この 3 つの資産のどれにも関わるのが変われる力、変化資産。そして最後にすべてを包含するのが幸せを感じる力、幸福資産。

・では、今の自分に足りない資産は何だろう。その足りない資産を生み出していくには、今から何を始めたら良いかを考えよう。

以上

東京南 RC　中野様

杉原会員より、碇様のご紹介

本日の ZOOM 出席　崎山会員

本日のお料理